

Vol.3
FUKU DEN KAI

福電会

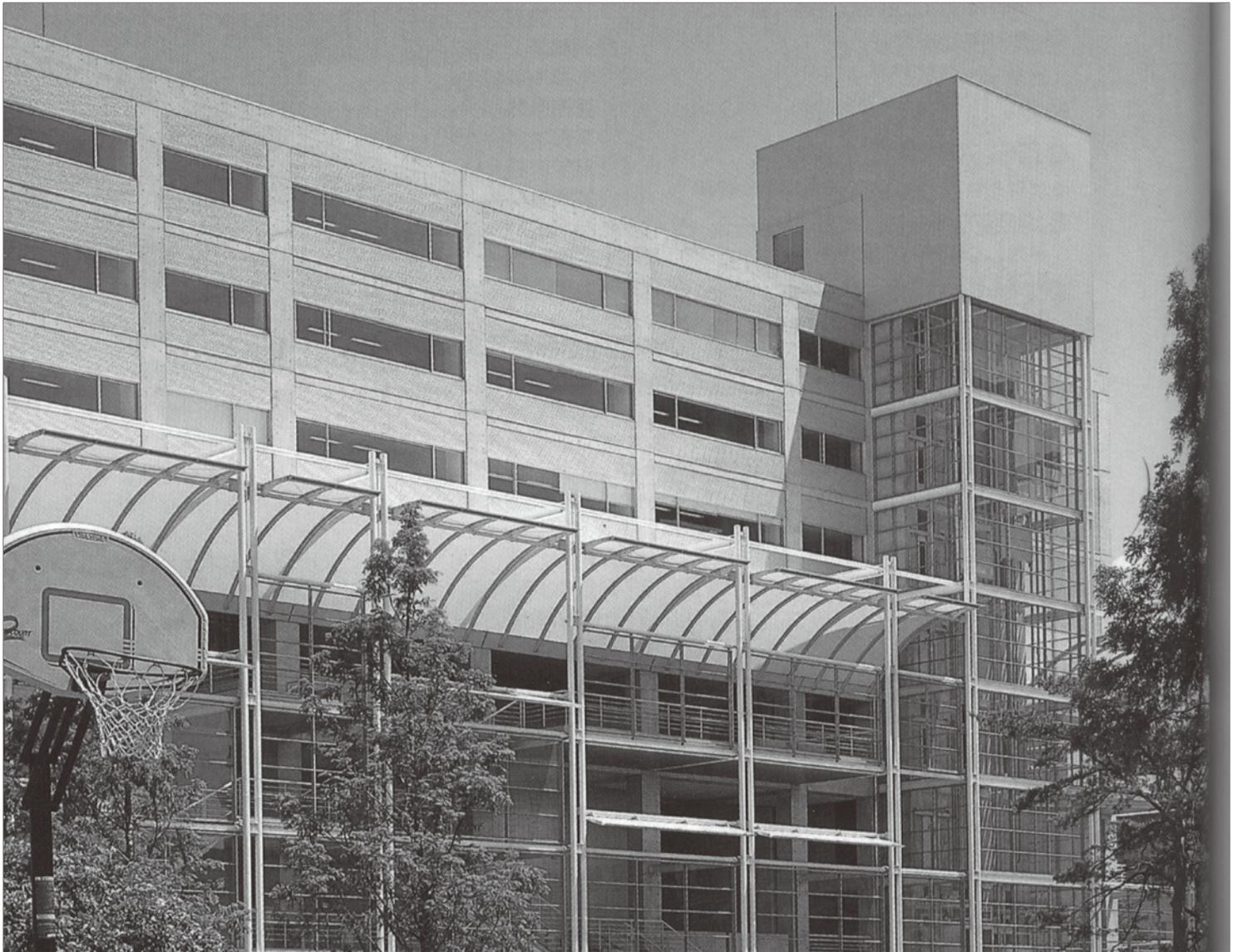
発行所
福岡市城南区七隈8-19-1
福岡大学内
福電会

郵便番号 814-0180
電話 (092) 871-6631 内線 (6370)
FAX (092) 865-6031

印刷所
福岡市博多区博多駅前2丁目
11-26 (井門ビル7F)
日本アート印刷株式会社

福岡大学電気工学科同窓会機関紙

編集：広報委員会



▲教育施設A棟/60周年記念館とともに福岡大学創立60周年記念事業として建設。

新年のご挨拶

皆さん、明けましておめでとうございませう。ご家族ともども、明るい新年を迎えられたことお喜び申し上げます。

また、年末から年始にかけて、2000年問題の対応などに従事された方々もあつたかと思ひます。大変ご苦労さまでした。私は、現在、火力発電所に勤務いたしておりますので、12月31日の夕刻から1月1日未明にかけて出勤致しました。しかし、心配されたようなトラブルもなく、無事新年を迎えることが出来ました。

ところで、昨年の出来事を少し振り返ってみたいと思ひます。なかなか大変な一年でした。銀行など金融機関の経営破綻や大型合併さらに大手電機メーカーの分社化など、これまで経験したことのないような出来事が続きました。一方では、リストラの名のもとに、定年前退職の勧告や年金金利の引下げなど近年にない激動の一年だったと思ひます。このような動きは、いましばらく続くかもしれません、必ずいい日が出て来るとの信念のもとお互い協力して参りたいと思ひます。

福電会会員の皆さん、今年一年、仕事で・遊びで・飲み会で、それぞれの活きた情報を交換しながらお互い助け合つて、頑張つていきましょう。

福電会会長 昭和41年卒

九州電力 相浦発電所所長 山中輝彦

着任のごあいさつ

夢の実現へ向かって

平成11年4月1日付で講師として着任致しました。今春、九州大学大学院の博士課程を修了し、縁あって本学に採用いただきまして現在に至っております。努力精進してゆく所存でありますので、皆様方の御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

専門はロボット工学で、人間社会にロボットが融け込み、人間の仕事をかたがわりすることによって人々の暮らしをより豊かにする、ということを大きな夢として研究を進めております。

大学および大学院在学中は、人間の手と同様の関節構造を持ったハンドシステムに人間同様の器用な作業を行わせるための制御手法の開発を行ってまいりました。今後は、ハンドシステムの研究のみならず、より広く研究の対象を広げ、夢の実現に向かって前進してゆきたいと考えております。

本学に着任致しまして最初に感じましたことは、学生の数の多さと、はじけるような活気であります。第一回目の講義では、熱心に講義を聞く数多くの強い視線にぶつかり、相当の気合いを入れてゆかねばならないな、と覚悟したことを覚えております。周りの先生方や職員の方々のあたたかい御助言や励ましのおかげをもちまして、ようやく毎週の講義や卒論の指導にも慣れて参りましたが、未だに学生の熱気に押されてしまうことも多く、自分に気合いを入れ直している毎日です。



松岡 毅 講師

はじめまして

平成11年春に専任講師として赴任しました小浜です。出身は長崎県の五島列島です。実家は漁業をしております、一応漁師の息子ですが、魚の名前もろくに知らない伊達息子でなぜか現在大学勤めをしております。専門は電子回路、パワーエレクトロニクスで特に電子機器用スイッチング電源装置の研究・開発を行っております。詳細は当研究室のホームページ(URL://cir.tec.fukuoka-u.ac.jp)に掲載しておりますのでご覧ください。福大には数年前から非常勤講師として電子回路を担当させて頂いておりましたが、今回、縁あって専任となりました。



小浜 輝彦 講師

ご存知の通り福岡大学は西日本有数のマンモス大学として有名です。私は他大学出身ですが学生時代に所属していたパワーリフティング部の学生九州大会が毎年福岡大学で開催されていたことから福大キャンパスを何度か訪れたことがあります。その度に大学の規模の大きさに驚かされ、勉強、学生生活に恵まれた周辺環境をうらやましく思ったものです。現在、多くのOBの方々が多方面に渡って活躍されています。

最近是不況のために電気工学科の就職状況は厳しくなっておりますが、電気工学科の教員として社会に貢献できる学生を輩出すべく努力する所存です。皆様のご指導ご鞭撻の程よろしく申し上げます。最後に当学科の在校生に向けて実社会で経験を積まれておられる諸先輩方からの勉強・就職活動に向けてアドバイスやメッセージを頂けないでしょうか。彼らにとって就職活動、勉強、資格取得へ向けての何よりの刺激剤になることと存じます。メッセージはTEL内線6346、e-mail:kohama@fukuoka-u.ac.jpまで頂ければ幸いです。



つづきお父さん達は、日頃の厳しい日々を、桜吹雪の花の中にそっと飛ばして、学生時代の夢の中...
又会う日まで！と家路につきました。
幹事の「長尾、岡崎」君！
本当にご苦労さんでした。
連絡先 柳川高校
松尾 秀俊
TEL(0944) 733333
FAX(0944) 730575

平成十一年四月吉日熊本県植木町(鹿央C)にてゴルフコンペが開催されました。
朝からの激しい雨「ワオー 誰な? 雨男は!」
「おまえやなかや! カッパば忘れた! 貸してやり 今日絶対まけんけんね。」
「ほーそらまたすごかウツドやね!」
柿木でできとおと! 売ると高かかやね..」
ワイワイガヤガヤ
「皆さん スタート前に、記念写真とりますので、並んでください。」 (パチリ)
次の同窓会の合間を縫って年に二回(春、秋)のコンペも五回目 毎回気持ちはあの日と同じ! 青春時代:
すったもんだで戦いも終わり 優勝はお前! プービーは俺! と、決まり めでたしめでたし
一同、山鹿温泉へ いい湯だなー。と湯船につかっ て お互いの健康をきづかないながらも さて! 「いい酒ば、飲むはい」と、一同揃えば、乾杯! 「お疲れさん」ワイワイ ガヤガヤ! 「お前、あの時、こつゆうた覚えてるかい?」 「なんか昨日のようだなー。」 「みなさん 山口から藤井、中島君が今着ました」 「みんな、ごめん、顔ば見にきた! 明日出張なので泊まらんけど!」 (一同拍手)
かくして 春の夜の宴は まだまだすーっと、

43年卒 ゴルフコンペ開催



次回の開催予定日は平成12年4月8日(土) または4月15日(土) です。
会員の皆様と親睦を深めるため、また、福電会のより一層の発展のために皆様のご参加をお待ちしております。参加ご希望の方は、左記幹事までご連絡下さい。
幹事/中島 祐一郎
TEL(092)7261565
TEL(092)6063131
八尋 哲

平成11年11月20日(土) 佐賀GC(七山コース)にて第13回福電会ゴルフコンペが開催されました。19名の参加者が、晴天の山陵にナイスショットの快音を響かせながら、にぎやかな雰囲気の中でプレイは行われました。



卒業生からのメッセージ

今年の私の課題は――

(昭和四十二年卒)
イノウエジュエリー 井上 鴻一

はじめまして。私は電気工学科第一回卒業生です。自営してはや23年、年令も57才、まわりの友人達からは「お前はいいな定年がなくて！」そう我々の年代の話題といえば「定年」「病氣」「孫」この三つ。仕事の話題なんて「景気悪いな！」で終り。企業家とおだてられこの文章を書くはめに。まわりを見渡せば私よりも社会的にも人物的にも立派な会社員が大勢、独立して頭の回転のにぶい私にとつて、きょうこの頃が今まで過ぎて来た年よりも、一番厳しい、どうしていいのか何をしたらこれからの明るい未来があるのか因数分解出来ず悩むばかり。過去の事を思っても仕方ない。明るい未来？の為頑張るしかない、これが今の私の課題。

これから独立しようと思っている諸君旧来の事を尊重しながら否定出来る人こそ明るい未来があり成功につながるのではないかと。

最後に宣伝です。結婚・記念日等宝石を買う時は、ぜひ天神コア1Fイノウエジュエリーで。皆さん、まっています。

電気科卒の司法書士の雑考

(昭和四十二年卒)
司法書士 山下 興次

◎土地・建物の「権利証書」について：よく、テレビドラマ等で此の権利証書のみで、その不動産の名義が変わる様な場面が見受けられたが、最近では大分良く成つて来てはいる。

ところで「権利証書」とは、或る人が不動産(土地・建物)を自分の所有とし、それを民法第一七七条(對抗要件の登記)により登記申請した時の登記簿を一般的に「権利証書」と呼ばれるものである。

そこで或る不動産をA氏からB氏へ移転登記する場合は、A氏の市区町村に届出をしている届出印(俗に実印)を捺印し、本人が署名した委任状及び「権利証書」・市区町村長の発行した日から三ヶ月以内の印鑑証明書が現在の登記簿上の内容と合致した書類を添付して申請するものであり、その「権利証書」のみでは、何の意味も持っていないのである。

只、前回自分の名前で登記申請したので、一応正しい名義人が申請したのだらうと推測が付くぐらいのものである。

次に、「権利証書」を紛失した、若しくは消失した場合は、又の機会のお話とする。

25年ぶりに母校を訪ねて

(昭和四十九年卒)
九電工大石 憲治

今般、熊本から福岡転勤となりました。これを機会に福電会のお手伝いできればと思っております。先日、仕事で福大に行きました。懐かしさと何か言い表せない期待に胸をときめかせながら普通いなれたバスに乗り込みました。まず、町並みに驚きました。広くなった道、あのジャン荘は何処へ、この辺りに友人の下宿があったはずだが…。

母校に着いてその変貌にもまた面食らいました。中央にそびえ立つホテル風の壮大な建物や埋め立てられて狭くなった池。工学部には、新しい実験棟が建築中でした。たしか学生駐車場の跡だと思えます。わずかに中庭の日本庭園や4号館が当時の面影を残していました。懐かしく思いながら、キャンパス中を散策しました。学生時代所属していた無線部も、アンテナが新しく建て替つており、健在のようでした。胸が暖かくなるのを感じながら母校を後にいたしました。益々の御発展を祈念いたします。

昭和45年卒(第5期生) 同窓会

毎年、定例として1月2日の18:00より中洲城山ホテル2Fの「滝の茶屋」にて実施していますが、今年にはY2K対応により帰福する人が少なかつたため、福岡在住者を中心に1月下旬に実施する予定です。参加人数は6〜10名程度(メンバーは年によって少しずつ異なっています)とちょっと寂しい気もしますが、幹事の努力により継続しているところに意義があると思います。集まるところお互いの近況報告や欠席者からのメッセージの伝達、50歳を過ぎた頃からは健康の問題や髪の問題など励ましたり、心配したりと和気あいあいの時間を過ごしています。

今年卒業して30年の節目の年になりますので、毎年話題にはなっていますが実行されていない夏季の同窓会実施を実現させたいと考えています。

【追伸】

現在住所不明にて連絡が取れない人がいます。同期生で住所の判る人は幹事まで連絡をお願いします。



幹事の連絡先

白垣 耕一郎

TEL(092)541-1206

森 茂

TEL(092)861-3512

